

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-511495(P2005-511495A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-520673(P2003-520673)

【国際特許分類】

C 0 7 K	1/113	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/385	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	1/113	
A 6 1 K	39/00	G
A 6 1 K	39/385	
A 6 1 K	39/395	Y
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/00	
C 0 7 K	14/00	
C 0 7 K	14/47	
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月19日(2005.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱ショックタンパク質と抗原タンパク質の複合体を製造する方法であって、抗原性細胞又はウイルス粒子に由来する抗原タンパク質の集団を、1つ以上の異なる熱ショックタンパク質と in vitro で複合体化するステップを含み、上記集団が、抗原性細胞若しくはウイルス粒子の、又は抗原性細胞の細胞画分に存在する、少なくとも 50 % の異なるタンパク質又は少なくとも 50 種の異なるタンパク質を含む、上記方法。